

2019年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	インターンシップセミナーの充実と課題解決インターンシップ(新規開講)	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	キャリア教育・サポートセンター	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	グローバル化推進センター	
実施責任者(所属)	勝亦 達夫 (キャリア教育・サポートセンター 助教)	
取組の目標	① インターンシップセミナーとして事前学習、実習、事後学習を実施 ② 前期「課題解決インターンシップ」を開講 ③ eポートフォリオの活用と「キャリアシート」の整備	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	1. 信州産学官連携インターンシップ(県内・海外)事業に関連し、インターンシップの事前・事後学習を各地キャンパスで全9回開催した。事前学習で、インターンシップに参加する上での手続きやマナーについて学ぶとともに、事前の課題設定の重要性を伝えた。 2. 課題設定-企画-調整-実践-評価のPDCAの一連の流れを教育プログラムとする「課題解決型インターンシップ」を実施した。これまで開発したインターンシップ・ルーブリックを活用し、事前学習の段階からチェック表として活用し、事後もふりかえりの際に利用することで、自己評価を行った。 3. eポートフォリオを並行して活用し記録を積み重ねながら、 学生の成長や学びの成果を「キャリアシート」としてまとめた。 人に読まれることを意識し、インターンシップの事前課題の設定、体験内容で達成される目標、事後評価、客観的評価などをまとめられるフォーマットを整備した。	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望 (達成の度合いを選び、そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた	(評価理由) 「より学びたい、より専門性を活かしたい」と考える学生が参加できるプログラムを整備し、「課題解決型インターンシップ・ゼミ」を開講した。実践的な課題に取り組み、自らが解決策を提案する。提案に留まらず、実際にアクションを起こし、改善点や発展のポイントを分析することで分析力や課題設定力の深化を図ることができた。不安な点や上手くいったことをセミナー内で周囲と共有し、自身が主体的に動くことで目標を達成することができ、これを実感できる機会となった。また、セミナーは各地キャンパスに配慮し、遠隔会議システム「ZOOM」を活用し、随時コミュニケーションをとることができた。
		(今後の展望) 「学びの履歴書(キャリアシート)」を作成するにとどまらず精緻化(elaboration:自分で自分に説明できるようにする)し、他者へ伝える媒体(キャリアシート)を充実する。また、課題解決インターンシップ、インターンシップや課外活動を含めた学生の主体的な活動を発表し、学生と企業等が交流する機会を設けたい。